

ゆとりーとライン「保育&ライド」「学・遊パス」 実証実験の概要(実施期間:平成16年7月~18年3月)

《背景》

ゆとりーとラインは、案内輪を装着するバスが高架専用軌道から一般道を連続走行し、鉄道の定時走行性・バスの汎用性を兼ね備えた新交通システムで、名古屋市北東部と都心部を結ぶ同地区唯一の基幹公共交通機関である。

名古屋市は従来から車への依存度が高い地域である。

名古屋市北東部は若い世代が急増しており、アンケート調査によると子育て支援施設のニーズが高い地域である。

平成15年12月に地下鉄名城線が名古屋大学駅まで延伸され、更に平成16年10月には環状化され、砂田橋駅でゆとりーとラインから地下鉄に乗り換えれば、大学が密集する八事地区への通学が便利になる。

平成16年10月に名古屋市が小幡緑地駅において、ゆとりーとライン利用者が優先的に利用できる駐車場を整備した。

広域的な公共交通利用転換に関する実証実験の事業概要

子育て支援施設のニーズが高い名古屋市北東部において保育施設と連携した新しい形態のパーク&ライド「保育&ライド」を実施し、子育て中の若い世代が公共交通を利用しやすい環境を作り、都心部への通勤者の利用転換を図る。また、地下鉄の環状化に合わせて通学にも遊びにも利用しやすい特別企画通学定期券「学・遊パス」を設定し、地下鉄沿線の学校への通学者を、積極的に誘致し、公共交通への利用転換を図る。

〔実験内容〕

1. 保育&ライドの実施(期間:平成16年10月~18年3月)

小幡緑地駅に隣接する名古屋ガイドウェイバス(株)敷地において、保育施設に乳幼児を預け、ゆとりーとラインを利用する者を対象とした予約制の駐車場32台分を設置する。

2. 学・遊パスの設定(期間:平成16年8月~18年3月)

ゆとりーとライン(高架区間)内乗降自由で均一料金とする新通学定期券「学・遊パス」を発売し、名古屋市が整備する駐車場と併せてパーク&ライドを実施する。

料 金・・・既存通学定期券7,200円(全線・大学生)に対し、3,600円均一に設定。

割高感のあった既存定期から50%の割引で、学生にとって購入し易い。

利用区間・・・自宅最寄り駅~砂田橋駅に制限されず、全線乗降可能。

大曽根駅でJR・名鉄線へ乗り換え沿線レジャースポットへ、またナゴヤドーム前矢田駅からドラゴンズの本拠地ナゴヤドームへ等、遊びにも使い易い。

利用期間・・・毎月1日から月末日までの1ヶ月間のみを設定。

夏休み等を考慮して計画的に購入でき、発券業務も簡素化できる。

実験の 途中経過

保育&ライドについて、平成16年度当初該社敷地に設置するパーク&ライド用駐車場32台分の内10台分を保育&ライド用として整備し全て契約となった。

11月から小幡緑地駅において名古屋市によるパーク&ライド用駐車場60台分の供用開始に伴い、保育&ライドの拡充を図るべく、残り22台分の契約者について順次そちらへの移行を進めている。

学・遊パスについて、平成16年9月から適用を開始し、PRの徹底により従来の通学定期券からの乗り換えの他新規利用者も堅調に増加している。